

第1回
地域防火・防犯部会
打合せ会報告

7月6日(火)19時から地域防火・防犯部会の第1回打ち合わせ会を行いました。
冒頭、当コミ協若林会長のあいさつの中で、現在五十嵐コミ協・青山コミ協・真砂コミ協では、各自自治会が消火栓の設置状況や消防自動車を通るための道路の幅員の確認を行うこととして、新潟市防火連合協議会真砂地区協会」の推移および「新潟西地区防犯組合連合会真砂小区コミ協防犯協議会」の現状等について説明がありました。
その後、部会の平成22年度の方針について確認を行い、取組を進めることにしました。一部自治会に於いては、すでに消火栓の設置状況について把握しているところもあり、方法については、各自自治会にお任せし、8月末頃までに報告いただくこととしました。
その他、新潟市防火連合協議会・西地区防犯組合連合会の定期総会の報告をしました。

まさこ体験教室
「たごあげ大会」
青少年健全育成部会

6月5日(土)真砂小学校において、まさこ体験教室「たごあげ大会」を行いました。初めての試みでしたが、予想を大きく上回る130名以上の方からお集まりいただき、小学生や未就学児などの子どもたちを中心に、保護者や地域の方々とのふれあいのときを過ごすことができました。
たご作りでは真剣に取り組み姿が、そして、たごあげの際には、あまり風が吹かず、また、前日から雨でグラウンド状態もよくありませんでしたが、元気に走り回る子どもたちの姿をあちこちに見ました。
ご協力いただきました皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございます。
今年度はもう一つの事業として、11月に家庭教育学級「国際交流食育」を予定していますので、よろしく願います。



平成22年度予算

収入の部		単位:円
補助	300,000	
会費他	628,889	
合計	928,889	
支出の部		
事業活動費	260,000	
運営費	599,540	
予備	69,349	
合計	928,889	

スポーツ部会活動報告
真砂校区野球連合リーグ戦は5月9日(日)から始まり順調に進んでおります。また、「日報・しんきん杯」は6月20日(日)一回戦を行いベスト4が決まりました。6月27日(日)の準決勝、決勝は雨のため、8月8日(日)に順延になりました。
勝ち残ったチームは「松海一」「真砂三」「真砂一」「真砂四」です。お互い頑張りましょう。
「新潟市早起き野球大会」も後半戦を迎えております。私共リーグ戦から出場している壮年の部で真砂、松海連合チームがサヨナラ勝ちの連続で見事ベスト4に勝ち残りました。
優勝めざしががんばっております。
地域のみなさん共々応援しましょう。

編集後記
暑い日々が続いていますね。今年は食事の支度をしていて熱中症になるなど、家の中にかかる人が多いそうです。水分を十分取り、シャワーを浴びて体温をさげるなどして予防をしましょう。
この会報では、地域のニュースや情報をお知らせしていきたいと思っております。みんなに知ってほしいあんなことやこんなこと、皆様の情報提供をお待ちしております。

- 平成22年度役員
- 顧問 本間 信一
 - 【西区自治協議会委員】
 - 会長 若林 彰一 (真砂2丁目自治会)
 - 副会長 松田 勝雄 (松海が丘第3自治会)
 - 副会長 佐野 越夫 (西小針台3丁目自治会)
 - 会計 小林 知昭 (松海が丘第1自治会)
 - 事務局長 池田 葵 (晴海ヶ丘自治会)
 - 監事 堀 文二 (有明町自治会)
 - 監事 池田 朋和 (小針台自治会)

真砂小学校区
コミュニティ協議会事務所
開設のお知らせ

さる7月1日から真砂小区コミュニティ協議会の拠点として西区助成金「地域コミュニティ協議会事務所借上げ補助金交付制度」を積極活用する形で左記の様な事務所を借用開設しました。
借上げ事務所は、7名〜8名程度の利用が出来るスペースです。小委員会程度の打合せ等には最適です。
未だ開設当初でもあり、事務机、応接テーブルまがいの事務机、折りたたみ椅子等は家主の好意で借りました。電話機・液晶ディスプレイ・キーボード・茶器セット等々は会員の好意により寄贈貸与などして貰っています。

事務所詳細は次の通りです。
◇所在地
〒九五〇一ニ〇七四新潟市西区真砂一丁目二一三三
(「文具のつくし」隣)
電話番号 一三三〇一四四四〇

◇室内広さ等
七、二三坪、北東向き
駐車2台可、エアコン・冷蔵庫付

◇その他
会議資料作成、メール発送、インターネット利用、Fax発送可
◇当面空室管理はコミ協事務局長 池田 葵が行います。

事務所利用について
各自自治会、コミ協部会、自主防災会の方々のご利用をお待ちしています。

利用申込み方法

- ア、申込み先
・ コミ協事務局長 池田 葵
 - イ、申込み先電話
〇八〇一三二七四一〇〇二六 (携帯電話)
 - ウ、メールアドレス(左下に表示)
 - エ、メール申込みを推奨します。
 - オ、事務所扉開閉用鍵は
コミ協 若林 会長
佐野 副会長
小林 会計担当
池田 事務局長
 - 防災会 松田 会長
三國 副会長
白鳥 会計担当
- の7名が預かっています。
オ、利用申請後、池田事務局長が鍵借用先を指示しますので、使用に際しての貸借を行って下さい。
使用終了後は、遅滞無く借用先に扉開閉用鍵を返却して下さい。

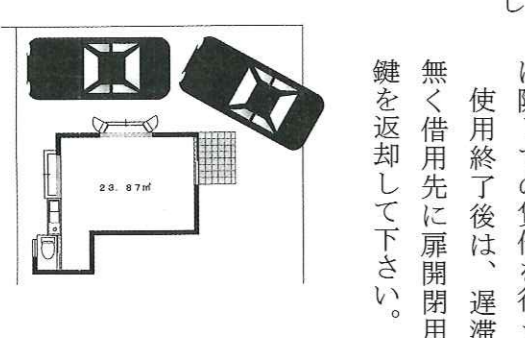
真砂小学校区コミ協だより 第1号 平成22年7月31日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会
編集:真砂小学校区コミュニティ協議会総務部会

借上げ事務所外観(402号線より観る)



事務所と事務所周囲の平面図



事務所の借入れ申請用メールアドレス
mtikeda@w5.dion.ne.jp

新設の「」協事務所
福祉部会の活動

西区役所健康福祉課から当コミ協の福祉関係活動について新大生が知りたいので訪問したいという申し出がありました。
そこで7月13日午後2時から西区役所健康福祉課(地域保健福祉担当)保健師石川玲子さんの案内で訪れた新大4年生4名に、佐藤部会長から部会で取り扱う福祉の概要の説明をしました。
その後部会員の土坂副部長、飯島さんと保健師の石川さんも入って現場の具体事例などを話し、最後に4名から質問を受けて2時間にわたっての説明会を終了しました。



ひやり、はっと、命拾い

交通安全部会

交通安全部会では交通に関する「私の危険な体験談」及び「交通安全標語」を募集しておりましたが、その作品を見ていただきました。各自治会に「自転車の正しい乗り方」とあわせて配布いたしました。そのうちの2、3を紹介いたします。

「私の危険な体験談」

◎ 夕方6時頃学校町の小路を車で走行中、横の小路から突然中学生の自転車が飛び出し車の直前を横切った。頭にヘッドホンをつけてラジオを聴きながら走っていた。私はゆっくり走っていたので接触せずに済んだ。

◎ 5月の連休中の午後2時頃ドライブ帰りの途中、センターラインをオーバーし、対向車2台に接触、幸い相手とも怪我は無かったけれど、車の側面を大破した。

一瞬眠ったようだ。あと10センチずれていたら正面衝突で危ないところだ

った。連休中だったので、家族5人も乗っていた。以後、気合いを入れて運転しています。

◎ 会社の同僚の助手席に乗って移動中、後ろから自転車が来るのに気づかず、運転手が左折しようとしたところ、自転車が左側を通り抜けたため接触した。

話を聞いていて注意不足になっていたので、助手席に私が乗っていて左後方が見えにくかったのだと思う。

「交通安全標語」

◎ ケータイで落とすな あなたの大事な命
◎ 横断歩道も左右見て 自身身の身を守れ
◎ 追い越しをしてはみたくれど、交差点では一緒だよ

このほかに、飲酒、携帯電話に関するものが目につきました。応募していただきありがとうございました。



生活環境部会 本年第一回目の会議を開く

7月1日夜、真砂会館で第一回目の生活環境部会が開かれました。

会議では5月の定期総会で決定された活動計画の具体化を中心に議論しました。

◎ 例年実施されている市主催の「海の森のつどい」（9月25日、会場青山）には各自治会から積極的に参加するようにする。

◎ 上新栄町の保安林（通称、真砂草原）整備の活動

近隣自治会全体の運動とするため「上新栄町保安林連絡調整懇談会」の立ち上げが提起されているので、この組織を結成しそこでの方針ですすめる。この懇談会にはコミ協や県・市も加わる。

◎ 上新栄町保安林に隣接する住民の活動

上記保安林に隣接する真砂4丁目の住民（12世帯）の方が日常的に被害（アメリシロ、枯れ草やゴミ、強風と塩害、ヤブ蚊、火災の不安―例年「真砂草原」で火事あり、等々）から生活環境を守るための活動を独自に進めているが、これにも支援する。

「上新栄町保安林 連絡調整懇談会」を結成

去る7月19日（火）に表題の「懇談会」組織が結成されました。

この懇談会は、西区上新栄町の保安林指定区域が現在荒れ放題で、保安林としての機能を果たしていない状況を整備していくため、その活動方針や情報交換等を目的として結成されました。

同地区の保安林整備の活動はこれまで真砂4丁目自治会やコミ協の生活環境部としてすすめてきましたが、同地区に接する5自治会（有明町、真砂三・四、松海が丘三・四）と県・市の関係機関、真砂小学校区コミ協で構成し情報や方針を共有し、活動も共同歩調ですすめることとしました。

この結成の為の会議には上記の団体や県・市から14名が参加。第一回目の会議は9月29日に行うことを申し合わせました。

組織の会長には若林彰一氏（コミ協会長）が選出されました。

飛砂問題解決に向けて

402号線（海岸線）の飛砂対策についての要望書を去る3月10日、新潟西区長に当コミ協として提出しました。6月15日、西区長から「地域の皆さんと現地をよく見て、今後の対策を一緒に検討したい」との回答がありました。

そこで「飛砂の状況視察会」を生活環境部会が計画し、7月22日（木）開催されました。参加者は若林会長以下当コミ協加盟の自治会長、生活環境部会員等25名、行政側から区役所地域課課長、建設課長、同課員、西土木事務所、市土木総

務課、国交省信濃川工事事務所（2名）計7名、総勢32名で、午前10時「なぎさふれあい広場」に集合し、最初に行政側から資料が配布され、飛砂問題の対応について現状説明がありました。質疑応答の後、現場を見て歩きながら、今まで実施してきた防砂植栽と、現在計画している事、道路に溜まった砂の排除について、如何にしているのか等説明に対し、質問や具体的な提案等が活発に出されました。



現地解散後真砂会館で全員（行政側を除く）が集合し参加者全員の感想を含めて意見交換会を開きました。

行政、地域一体となって

当コミ協としてこの問題に正面から取り組む（運動化する）事は今回が初めてですが、国、県、市の担当者が同時に顔を合わせ、地域の自治会長全員

1. 被害現場周辺に住む地域の自治会長から切実な生の声を、国、県、市の担当責任者が直接同時に聞いた事による効果。
2. 行政側として防砂植栽等試行錯誤しながら種々努力していることがよくわかった。
3. 防砂植栽は現地で育っている植物を増やしていく事が現在のところ良い方法だ。時期になったら種を採ってそれを撒くことにした。
4. 行政として飛砂防止対策としての予算が無く乏しい全体の予算で対応しているのので、やりたいことがなかなか進まない。
5. 行政側と地域住民側とは立場が違うがお互いを少しでも理解することができ、飛砂問題を改めて共有することが出来た。
6. 行政側は地域の活力に期待している。したがって、厳しい自然を相手としたこの種の問題は特に行政、地域一体となって地道に、止まる事無く、根気よく進めていかなければならない。

なぎさの植物を育てるイベント



そこで当コミ協として次に何をやるかということですが、当日配られた資料の中に「なぎさの植物を育てる2010」と一緒に、植物を植えませんか」が有りました。

実施者は地域の皆様（お子様と一緒にどうぞ）、新潟市、信濃川下流河川事務所の職員等

① 海浜植物の調査

主な内容（予定）は海浜には、どんな植物が育っているか調べます。

② 種の採取

種まきに使うたねを集めます。



③ 種まき

植物のあまり育っていないところに、集めた種をまきます。

④ 各種の自然遊び体験

コウボウ表で筆をついたり、拾った貝殻や海藻で砂絵をつくったり、海浜植物や貝殻などの自然の恵を使って遊びます。実施時期は10月中旬頃（休日の午前中）です。このようなイベントへの参加は地道な活動の一環として重要です。絶え間なく続けて行くためにも、出来るだけ大勢で参加しようではありませんか。

